

「人・社会・自然」ハーモニープロジェクト

住民主体で活性化を行う地域

# 美和



## 2015年度 活動報告会

2016.5.20（金）美和工芸ふれあいセンター



森と地域の調和を考える会・「木の駅プロジェクト美和」実行委員会

# — 目次 —

- I. 美和地域の現状
- II. 美和地域の資源
- III. 2015年度活動報告
  - 1. 「木の駅プロジェクト美和」
    - 1) 出荷の状況
    - 2) 出荷量の推移
    - 3) 「モリ券」発行・利用状況（経済効果）
    - 4) 「木の駅プロジェクト美和」の成果と課題
    - 5) 森林教室の開催
    - 6) 環境教室の開催
  - 2. 「森と地域の調和を考える会」の取り組み
    - 1) 岡山邸庭園整備事業
    - 2) 高部館整備事業
    - 3) 高部「向館」整備事業
    - 4) ツアーイベントの開催
    - 5) 美和木工「木でつくる暮らしの道具コンテスト」開催
    - 6) 歴史探索ツアー
    - 7) 「中世の高部」パンフレット製作
    - 8) イベント及びボランティア参加者数
    - 9) これまでの報道
- IV. 2016年度活動概要
- V. 当会が目指すところ
- VI. 地域活性化を成功させるのは「人」
- VII. おわりに



# I. 美和地域の現状

常陸大宮市美和地区は、森林面積が地区の80%を超える自然豊かなところである。しかしながら、過疎化の進行スピードが早く、この約10年間で**人口減少率は約17.3%**となっている。更に、常陸大宮市全体での**高齢化率は31.5%\***であるが、当美和地区においては**約40%**と想定され、**当地域の衰退が一段と加速している状況**となっている。



常陸大宮市 地域別常住人口推移

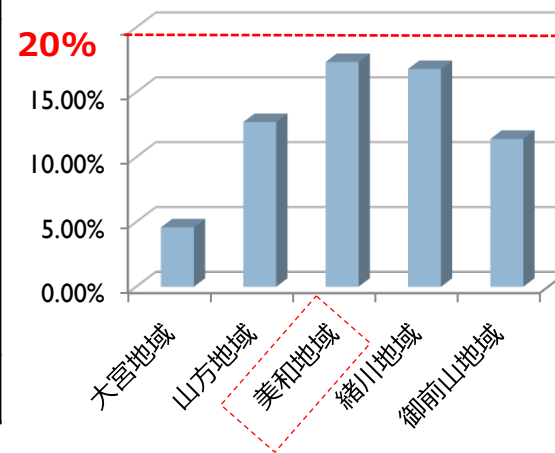
(単位:人)

	平成17年	平成27年	平成28年	1年間の減少	平成17年からの減少数	減少率
大宮地域	27,247	26,172	25,998	-174	-1,249	-4.58%
山方地域	7,569	6,758	6,608	-150	-961	-12.70%
<b>美和地域</b>	4,299	3,640	3,554	-86	-745	<b>-17.33%</b>
緒川地域	4,443	3,815	3,697	-118	-746	-16.79%
御前山地域	4,263	3,856	3,777	-79	-486	-11.40%
合計	47,821	44,241	43,634	-607	-4,187	-8.76%




\*高齢化率31.5%は健康常陸大宮2 1計画人口の推移と推計より参照

平成28年3月31日現在

人口減少率



## II. 美和地域の資源

<p>「豊かな自然」</p> <p>森の恵み</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>森林資源</b> 木材、木質バイオマス、薪、チップ、オガ粉</li><li>■ <b>食料</b> 木の実、山菜、キノコ、アケビ、沢ガニ、イワナ</li><li>■ <b>水</b> 山から湧き出す自然水、沢水</li></ul>	
<p>「里山」</p> <p>昔の原風景</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>食料</b> 米、麦、そば、野菜、果物、木の実、山菜、川魚</li><li>■ <b>エネルギー</b> 薪、雑木、水車</li><li>■ <b>地域の絆</b> 地域で助け合う</li></ul>	
<p>「歴史」</p> <p>歴史的価値</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>開発の遅れが歴史的価値を現存させた</b></li></ul> <p>高部の街並み、高部館、向館、造り酒屋、洋館、旧宿場町、お寺など</p>	

# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 1. 「木の駅プロジェクト美和」

### 1) 出荷の状況

(単位 : m3)

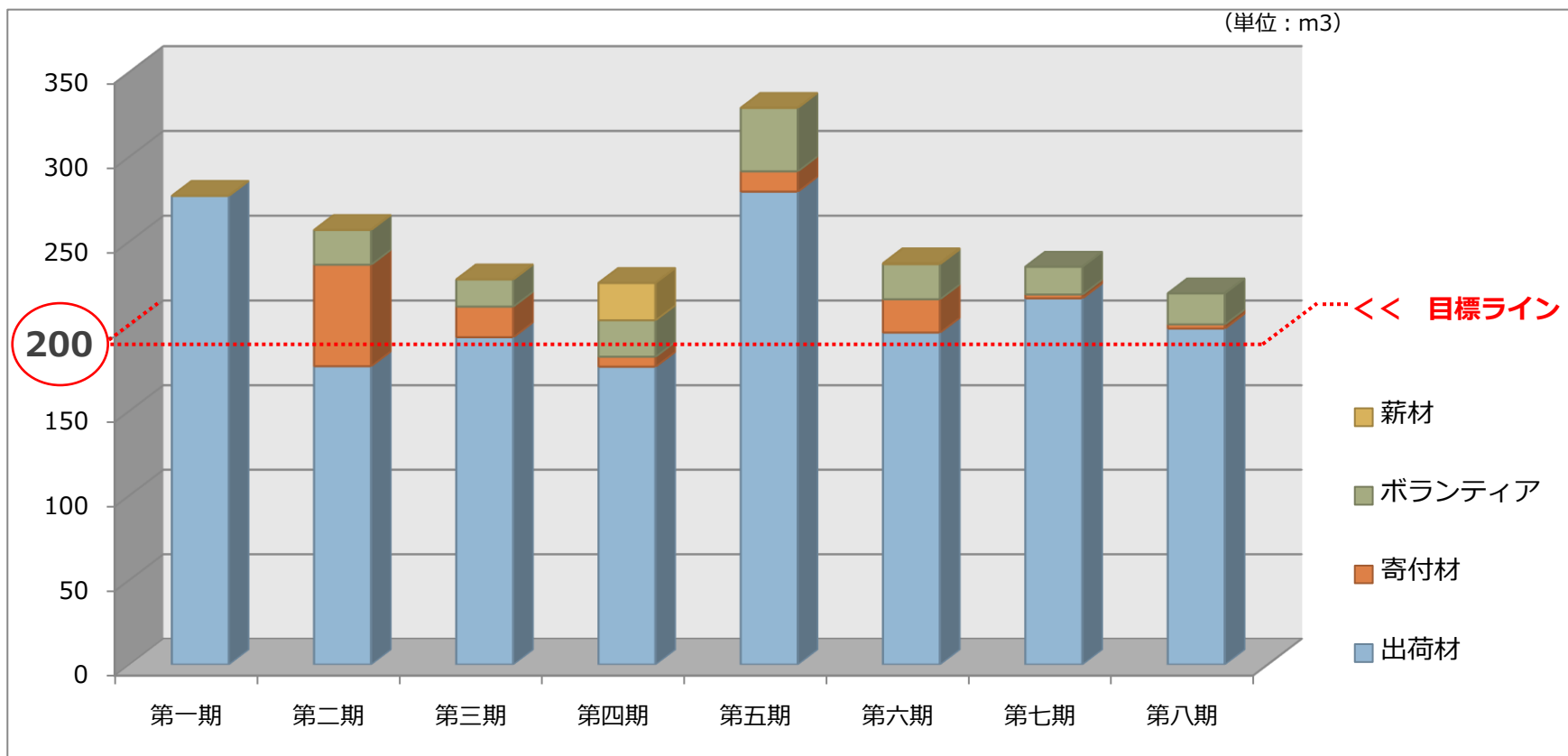
期	出荷材	寄付材	ボランティア	新材	計
第七期	216.53	2.26	16.35	0	235.14
第八期	198.70	2.46	18.29	0.0	219.45
通期合計 (第一期～第八期)	1,714.22	120.30	150.67	22.52	<b>2,007.71</b>

【実施期間】 第七期 : 2015.5.23～2015.8.31 / 第八期 : 2015.11.14～2016.3.31

# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 2) 出荷量の推移

通期出荷累計：2,007.71 m<sup>3</sup> 軽トラ：4,015 台 ※



※軽トラ1台あたり“0.5m<sup>3</sup>”で計算しています。

# Ⅲ. 2015年度活動報告

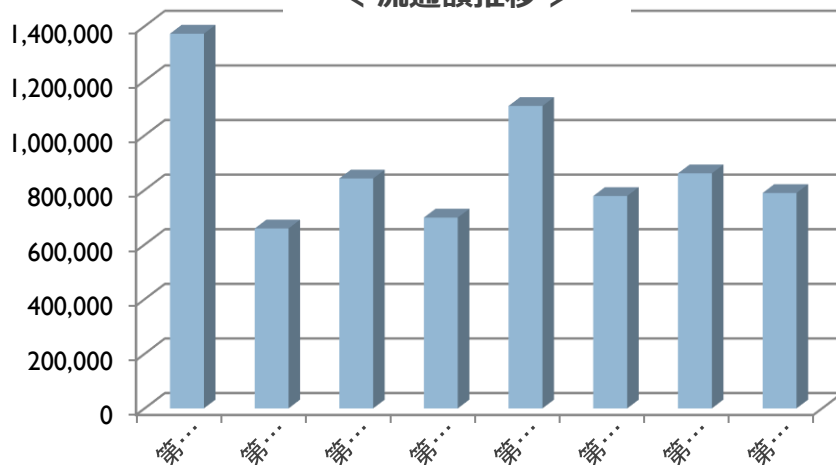
## 3) 「モリ券」の発行・利用状況（経済効果）

期	モリ券	青モリ券	赤モリ券	発行枚数	金額換算
第七期	687 枚	86 枚	87 枚	860 枚	860,000円
第八期	632 枚	78 枚	79 枚	789 枚	789,000円
通期合計	6,296 枚	620 枚	166 枚	7,082 枚	<b>7,107,500円</b>

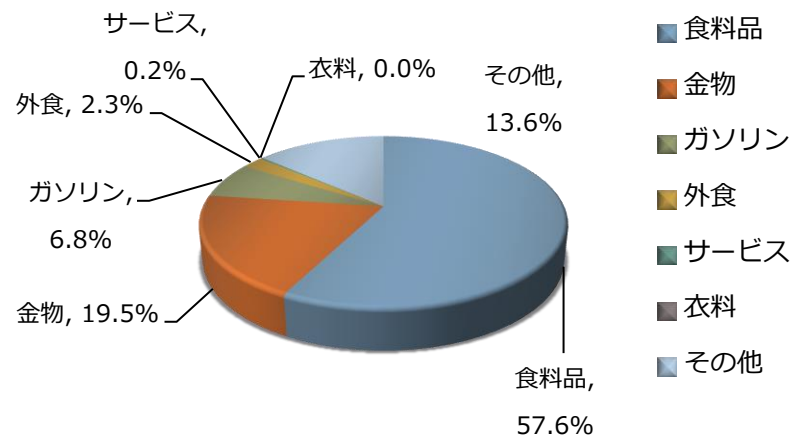
※第1期のみ青モリ券は1,500円で発券

(単位：円)

＜流通額推移＞



＜利用状況＞



# Ⅲ. 2015年度活動報告

---

## 4) 「木の駅プロジェクト美和」の成果と課題

### 【成果】

- ・ 第七、第八期ともに目標としていた出荷数量200m<sup>3</sup>をクリアすることができた。前期よりプロジェクトの期間を延長したこともあるが、安定的に出荷できている点は良好と言える。
- ・ 当プロジェクトにより、森林整備は確実に進んでいる。
- ・ “地域の問題は地域で解決する”という地域自治の意識が根付いてきており、ボランティア活動への協力など地域の絆が深まってきている。

### 【課題】

- ・ 毎回のことであるが、作業時の事故リスクは高い。安全な作業のための意識付けを継続的に実施することが必要である。
- ・ 前期に続き、出荷者がある程度決まってしまっている。当会の活動を通じて、興味を持った方にアプローチをしていく。
- ・ 二次流通専用券とした「赤モリ券」の利用促進を図ること。
- ・ 当プロジェクトの収支改善に取り組むこと。



# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 5) 森林教室の開催

2015.10.129 上野小学校（6年生）  
紙すき体験



2016.1.21  
緒川小学校（5年生）  
宮の郷木材流通センター工場見学



2016.1.25  
美和小学校（5年生）  
間伐体験



### 【成果】

今期の森林教室は、これまでの間伐体験に加え、宮の郷工業団地内の木材流通センター見学、紙すき体験など新たな取り組みを行った。普段見ることのできない工場見学や、紙すき体験も子供達の目は輝いていた。今後も継続して取り組んでいく。

# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 6) 環境教室の開催



2015.10.30  
美和小学校  
(3年生)

### 【成果】

自然にふれあうことで環境保全の大切さを知ってもらう取組みとして初めて環境教室を開催した。美和を流れる河川の生態系について、楽しそうに、そして熱心に講師の話聞いていた。今後も継続して取り組んでいく。

# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 2. 「森と地域の調和を考える会」の取り組み

### 1) 岡山邸庭園整備事業

整備作業の様子(2015.10.10)



#### 【成果】

岡山さんのご協力を頂きながら、庭園内の整備（除草）を行った。様々なイベントにおいて庭園見学の機会が増えたが、手が加えられるようになった庭園は徐々に雰囲気が出てきた。以前の庭園に少しでも近づけられるよう今後も継続して整備する。

# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 2) 高部館整備事業

整備作業の様子 (2015.7.25)



### 【成果】

高部館は歴史探索ツアーなどの参加者からも評判が良く、また、頂上からの眺めも良いため、観光資源の一つにすることができた。高部宿を挟んだ「向館」の整備も進み、更なる観光資源化を目指していく。

# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 3) 高部「向館」整備事業

整備作業の様子 (2015.6.7)



### 【成果】

高部「向館」の整備により、高部館と合わせた歴史探索ツアーの新たな観光資源とすることができた。継続的に両館を整備して、様々なイベントの目玉として行きたい。尚、「中世の高部」を題材にパンフレットを作成した。

# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 4) ツアーイベントの開催 (参加者数: 50名)

2015.11.29 トレッキング美和 (第一回)



～ ピジョン美和の森から鷲子山上神社へ ～



**トレッキング美和**  
豊かな自然と歴史のある街並みを歩く

参加者募集

2015 11/29 [日] 申込締切/2015年11月25日(金)

第1回 **ピジョン美和の森から鷲子山上神社へ**  
 鷲子山神社は古くは神代文書に記述され、天智7年(688)に天智天皇が御幸され、天武天皇が御遷都された歴史ある神社です。  
 鷲子山神社の境内には「ササキアモリ」の里山の神社です。

開 始	9:30	ピジョン美和の森 集合
集 合	10:00	集合
開 始	10:15	出発
開 始	12:00	鷲子山上神社/自然 見学 休憩
開 始	13:30	下山開始
開 始	15:00	ピジョン美和の森/解散

定 員 20名  
定 費 2,000円  
定 費 2,000円  
定 費 2,000円  
定 費 2,000円

2016 1/31 [日] 申込締切/2016年1月22日(金)

第2回 **高部の街並みと尺丈山・百樹の森**  
 明治大正 高部の街並みと尺丈山・百樹の森の歴史を歩きます。  
 尺丈山頂上から富士山や御嶽山を眺めることができます。

開 始	9:30	尺丈山集合場所(センター)集合
開 始	10:00	尺丈山集合
開 始	10:15	尺丈山集合場所(センター)集合
開 始	11:00	尺丈山集合場所(センター)集合
開 始	11:30	尺丈山集合場所(センター)集合
開 始	12:00	尺丈山集合場所(センター)集合
開 始	13:30	尺丈山集合場所(センター)集合
開 始	14:30	尺丈山集合場所(センター)集合

定 員 20名  
定 費 2,000円  
定 費 2,000円  
定 費 2,000円

主催 美和地域の歴史を伝える会/常陸大宮市観光協会/常陸大宮市観光協会  
 共催 常陸大宮市観光協会/常陸大宮市観光協会  
 共催 常陸大宮市観光協会/常陸大宮市観光協会

### 【成果】

常陸大宮市と連携し、美和地域の魅力を感じてもらおうトレッキングツアーを企画、多くの方に参加頂いた。第二回(1/31)は天候が悪く残念ながら中止になってしまったが、参加者の評判も良く、共に魅力あるルートなので今後も実施し、美和地区の魅力を実感して頂けるよう取り組んでいく。

# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 5) 美和木工「木でつくる暮らしの道具コンテスト」開催

2016.2.29表彰式の様子



審査の様子



美和木工 木でつくる暮らしの道具コンテスト

「育てる 伐る 加工する 販売する」  
美和の林業を、加工・販売を含めた、  
循環・自立型の林業にかえていくために、  
魅力ある暮らしの道具（木工製品）  
を募集します。

募集期間 1月15日～1月31日  
入賞 2月20日  
審査期間 1月15日～1月31日

申込受付 2016年11月18日(水)～2016年1月26日(火) (申込期) 森と地域の調和を考える会  
入賞 2016年1月27日(水)～29日(金) (入賞期) 宮城大宮市経済振興協会のサポート  
審査 2月上旬  
結果発表 2月中旬までに入賞者に通知およびウェブサイトに掲載 <http://mks-moriwki.com/mks>  
開会式 2月28日(日) (会場) 美和工器のれいしセンター  
作品展示 3月1日(火)～13日(日) / 金作品 (会場) 美和工器のれいしセンター  
1月15日(水)～31日(水) / 入賞作品 (会場) 道の駅みわ「北斗星」

主催 森と地域の調和を考える会(森の駅、宮城大宮市経済振興協会)  
共催 宮城大宮市(宮城大宮市経済振興協会) 道の駅みわ「北斗星」  
実行委員会 森と地域の調和を考える会  
森と地域の調和を考える会 TEL:0235 62 2812 FAX:0235 62 2312 〒119-0201 宮城県大宮市美和3478

### 【成果】

常陸大宮市（浪漫文化街並みづくり事業）、道の駅みわ「北斗星」との連携により、美和木材の活用促進を兼ねた木工品コンテストを開催した。応募作品は**36点**と期待以上の結果となった。尚、入賞作品は道の駅みわ「北斗星」で展示し、5/1には一部の参加者を交えウッドクラフトフェアとして出店頂いた。今後も検討していく。

# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 6) 歴史探索ツアー (参加者数：66名)

2016.3.12



2016  
3/12[土]  
時間 AM10:00~PM1:00  
(集合AM9:30)

高部向館に登り、高部の街並みを巡る

戦国時代の山城跡

高部地区の歴史を学ぶツアーを開催します。  
高部地区は、戦国時代の山城跡を含め、  
「高部山城跡」を中心とした歴史遺産を  
多く残しており、訪れる価値のある場所  
です。また、高部地区には多くの  
史跡があり、その魅力を伝える  
ツアーを開催します。

申込/参加費/500円(資料代含む)

定員/50名(定員に達しない場合は申し込み順)

主催/森と地域の調和を考える会

協賛/陸大宮市ふるさと文化で人と地域を元気にする事業実行委員会

お問い合わせ/森と地域の調和を考える会 TEL.0245-58-3812 FAX.0245-58-2312

400年を  
超えて残る  
迫力ある遺構

### 【成果】

文化庁地域活性化事業として、陸大宮市ふるさと文化で人と地域を元気にする事業  
実行委員会と連携し、整備が進められてきた「高部向館」を含めた高部地区の歴史  
探索ツアーを開催した。定員50名に対し66名の応募があり盛況なイベントとなっ  
た。



# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 7) 「中世の高部」パンフレット製作


茨城県常陸大宮市高部  
森と地域の調和を考える会（木の駅プロジェクト）実行委員会  
高部大宮ふるさと文化センター高部を元にしたまちづくり委員会

戦国時代の山城 高部館・向館、  
そして城下を受け継ぐ高部宿の姿を探る

# 中世の高部

たかぶ

四百年の  
時を越えて残る  
迫力ある遺構



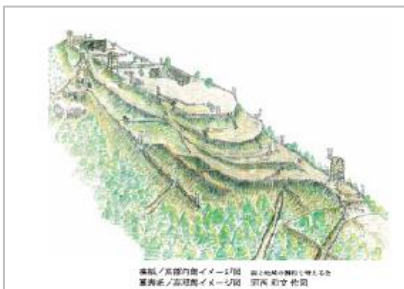

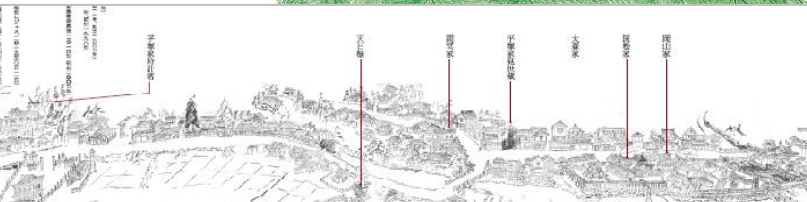
### 三、高部向館の構造

(一) 調査  
高部館跡から緒川を渡って緒川に合流する南北に延びる観音堂です。比喩から美和が、念仏の下草が在り、今年度の草刈り作業、歴史研究部が調査をすすめる、向館の構造を述べます。

(二) 向館  
観音堂の1つが、その構造、東東端は、水ノ引が形成する窪の大小段の構造、西の谷へと控りして下層階に作りこまれた道、IIの窪の内、Vの控す、窪の南西端では、面の構造を崩壊して、米の大手道と見られる、輪郭を越え、向館の一部は、Iに建つ3階として残存も利用され、一皮、Iの構造の残存して土庫、堀として、小さな遺構を併せて、遺跡の1へを、

(一) 高部館跡と高部宿  
高部館跡は、高部宿の中心地として、高部宿の発展に貢献した。高部宿は、高部館跡の南側に位置し、高部宿の中心地として、高部宿の発展に貢献した。高部宿は、高部館跡の南側に位置し、高部宿の中心地として、高部宿の発展に貢献した。

(二) 高部館の歴史  
高部館は、高部宿の中心地として、高部宿の発展に貢献した。高部宿は、高部館跡の南側に位置し、高部宿の中心地として、高部宿の発展に貢献した。高部宿は、高部館跡の南側に位置し、高部宿の中心地として、高部宿の発展に貢献した。

# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 8) イベント及びボランティア参加者人数

活動	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	累 計
イベント	80名	210名	275名	<b>565名</b>
ボランティア	203名	284名	265名	<b>752名</b>

### 【成果】

当会が企画したイベントには毎回多くの方に参加頂いており、予想以上の成果となっています。また、これらのイベントも多くボランティアの方に支えて頂きました。私どもは、美和地区にこれだけの方が足を運んでくれたことによる経済効果も決して少なくないと考えています。

# Ⅲ. 2015年度活動報告

## 9) これまでの報道

- ・新聞（茨城、読売、朝日各社）
- ・機関紙（林業関係、金融系、関東財務局ほか）
- ・フォーラム参加
- ・テレビ

NHK水戸「木の駅プロジェクト美和（スタート時）」  
BSジャパン（テレビ東京系）「百年の街並み」  
NHK総合「新日本紀行」

- ・ラジオ  
茨城放送（IBS）
- ・視察関係（2015年）  
銚田市文化財審議会・社会教育委員会（10/22）  
関東財務局水戸事務所（12/11）  
山梨県小菅村村長（12/22）

### 【課題】

当会の活動は、多くのメディアに取り上げて頂きました。報道等による効果は大きく、対応が追い付かない状況もあります。組織としての体制強化も今後の課題です。



2015.4.3 読売新聞記事



2014.11.20 茨城新聞記事

2016.6.8 朝日新聞記事

# IV. 2016年度活動概要

## 今後の活動概要 ①

活 動	取 組 み	目 標
木の駅プロジェクト 美和	第九期：2016年5月28日～8月31日 第十期：2016年10月22日 ～2017年3月31日	200m <sup>3</sup> 以上/期
森林教室	年2回 実施予定	参加人数 合計 70名 以上
環境教育	森林とつながりの深い河川の水質調査	(前期からの継続) 現状のデータ把握
高部館整備 河内城・向館整備	整備・調査：2016年5月～9月	継続整備
街並み保存事業	国松邸整備：2016年9月 岡山邸整備：2016年9月	継続整備

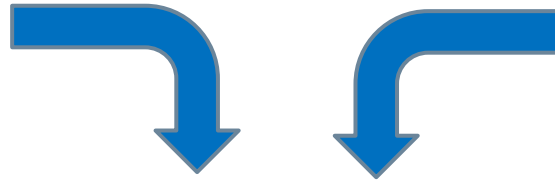
# IV. 2016年度活動概要

## 今後の活動概要 ②

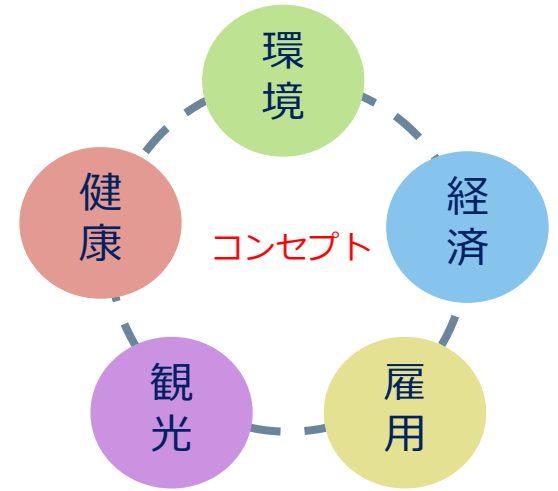
活 動	取り組み	目 標
薪販売事業	道の駅「北斗星」とのタイアップによる営業展開と新たな販売方法やルートを開拓（継続）	売上実績 30万円
イベントの実施	①ウッドクラフトフェア美和（済み）	①2016年5月1日実施済
	②NHK新日本紀行（2016年5月3日放送） 高部の街並み～尺丈山を巡るツアー	②2016年11月予定
	③ウッドジョブ（林業）体験ツアー	③2017年2月予定
	④歴史探索ツアー	④2017年3月予定
「鷺子和紙」 再生プロジェクト	和紙製造が盛んだった時代を振り返り和紙づくり体験ができる環境作りを行う。	調査・研究
農業への取り組み	地産地消はもとより販売できる農産品や楮などの栽培を模索する。	調査・分析

# V. 当会の目指すべきところ

「豊かな自然」 森の恵み	
「里山」 昔の原風景	
「歴史」 歴史的価値	



地域資源を活用すべく  
アイデアを出し合って  
地域の活性化を図る



「エネルギー」  
環境負荷の少ない暮らし

「食」  
自給自足も可能な暮らし

「生活」  
心豊かな暮らし

全ての人々に降り注ぐように

# VI. 地域活性化を成功させるのは「人」



## VII. おわりに

---

多くの関係者の皆様のご協力により、2015年度も概ね計画通りの結果を達成し無事終わることができました。各イベントに参加頂きました皆様、そして様々な場面で協力頂きましたボランティアの皆様、行政・大学関係者の皆様、そして当会の活動を暖かく見守って頂きながら、ご協力頂きました美和地域の皆様に心より感謝申し上げます。

当会は、5年目を迎えます。まだまだ手探りの状態ではありますが、少なからずこの「美和」地域に新たな風が吹き始めた実感しております。引き続き、皆様のご協力を頂きながらこの美和地区独自の「域活性化モデル」を目指して取り組んでいきたいと思っております。

今後の活動につきましても、何かとお手数をおかけすることと思っておりますが、引き続き、当会活動へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

森と地域の調和を考える会  
「木の駅プロジェクト美和」実行委員会 一同